

賞したジャーナリストの佐々木美氏も「指摘する。『パソナの迎賓館』『仁風林』に田村憲久厚労相が招待されていたことが露見しましたが、パソナは第一次安倍政権時代に天下り幹部に代わる人材バンク事業を

「日の丸を踏むな」典子さまとご婚約 千家國麿氏の愛国エピソード集



「熱い信念をお持ちで、神道や神社界についてよく語っておられました。神主として厳格な生き方をすべきだ、神社界に早く戻してほしい」と、神主界に早く戻してほしいとお願いされた高田宮家の次女・典子さま(25)と、島根県出雲大社の禰宜である、千家國麿氏(40)。耳目を集めたのは、出雲大社の祭祀を務める出雲国造(宮司)を代々受け継いできた千家家の家柄だ。

総務省から受託するなど、政府とのビジネスを強く意識している。竹中氏が雇用制度改革に関与するのは利益相反と言えます。成長戦略の美名の下、露骨な利益誘導は許されな

「出雲国造は神代より男系が継承してきたと言われる古い家柄。父の尊祐氏は第八十四代にあたります。記者会見での『大國主の大神様のお導きのもと、このよう素晴らしい方とご縁をいただきました』といった発言が評判となりましたが、先祖様は天照大神の次男、天穗日命だとい

國麿氏には2000人超の友達申請が

の神話では、皇室の祖神である天照大神の子に、大國主神が国を譲る代わりに建てさせたのが出雲大社だとされている。その大國主神に仕えたのが天穗日命だ。國麿氏と国學院大学で同級生だったという宮崎市の大塚八幡神社・中村高遠禰宜はこう振り返る。「高貴な方なので逆に教授が遠慮していたほどです。神主の作法の授業では衣装を忘れると出席できないのですが、彼が忘れたときに、教授は『オオクニヌシさんも忘れるんだな』って大目に見ていました(笑)」。そしていま話題となっているのが、國麿氏が過去にフェイスブック等で披露した、愛国発言の数々だ。例えば、ソチ五輪の際、日本選手団の応援PRのために、羽田空港の床の上に日本国旗がプリントされていることを知った國麿氏は、人々が踏みつけて歩くところに『国旗を貼り付けておいてほしい』といった何を考えているんだ、羽田空港は！(二月十四日)という憤りのコメントを

書き込んだ。この記事には百件以上のコメントが殺到。その後、羽田空港ではこの広告が撤去されたという。また、韓国や中国などの近隣諸国を指して、「水源や自衛隊の施設の近くの土地が他国の方に買われたりしていますし、このような事に対しての警戒は必要だと思えます」とも述べている。地元・島根県に属する竹島問題についても、國麿氏は憂慮しているという。「竹島の日」の前後に行われる竹島領土平安祈願祭を主催するのは、島根県神道青年協議会。國麿氏も会長

を務めたことがあろうか。國麿氏と同世代の神職が話す。「日本の真の友好平和、竹島問題の一刻も早い解決を神前に祈る祭典です。一般に神職は皆、国の在り方について意識が高い。千家さんも島根の神職ですから、竹島に対して特段の思いが



プロポーズの言葉は「ありませんでした」と笑顔で述べられた典子さま

東京女子医大現役医学部長が2歳児死亡事件の隠蔽工作を実名告発



「至誠」を唱える東京女子医大

営、管理があまりに場当たり的なです」東京女子医大の医学部トップは、小誌の直撃にこう重い口を開いた。

二月十八日、二歳の男児は、女子医大病院で首のリンパ管腫の手術を受けた。家族は「命に関わる手術ではない」との事前の説明を受けていた。手術は無事終わり、患部の経過観察のためにICUに搬送された。しかし、その三日後、容体が急変し、男児はわずか二年の短い人生を閉じたのだ。小誌は、四月二十四日号で、この死亡事故が医療ミスによるものであると報じた。小誌報道を受け、新聞、テレビ各社が後追い、監視庁捜査一課も捜査に乗

り出した。五月二十一日には、遺族は厚労省記者クラブで会見を開き、関係した医師らを業務上過失致死と医師法違反などで、刑

事件から三カ月以上が経った現在でも、病院の対応はホームページでの報告にとどまり、会見や謝罪はされていない。それどころか、女子医大関係者によれば「責任回避の動きさえ見られる」という。女子医大で何が起きているのか。小誌は高桑雄一医学部長を直撃した。高桑氏は女子医大の医学部を取りまとめ、大学のナンバー2と言

文書にも記載されている。男児の父は会見で次のように語っていた。「私は、三月一日に初めて禁忌薬の存在を知りました。それまでは安全な薬だと説明を受けていたので、しかも成人基準値の二・七倍もの量を使ったこともわかった。しかし、このことを病院に聞いたはずで、みんな道路を八十キロで走るでしょ、それと同じです、と言ったのです」高桑氏は、病院側の説明とは異なり、使用自体がおかしいと指摘する。「さらに、使用が常態化していたことが二つ目の問題です。女子医大病院では過去六年で数十例記録されている。これまでに他の誰かが亡くなっていた可能性もあるのです」三つ目の問題は、異状死の届け出た。医療過誤の疑いがある場合は異状死とされ、医師法では二十四時間以内に所轄警察署へ届け出なければならぬ。「しかし、女子医大は直ちに届け出なかった。男児は女子医大病院で解剖され、

火葬されてしまったのです」ようやく警察に届け出たのは、死亡四日後。報告が遅れに、警察は病院を叱責したという。一連の対応に、死亡事故の隠蔽を疑う声が学内からも上がった。「なぜか麻酔担当医は報告せずにいた。また、病院長は、禁忌薬使用の報告を受けてもなら注意することでもなかった。職責を果たしているとは思えません。禁忌薬を使用して亡くなっている時点で、異状死なのです。死亡後、直ちに届

殺害された有希ちゃん

台湾出身で引きこもり 栃木今市市女児殺害 容疑者の複雑すぎる二重生活



殺害された有希ちゃん

「押収した男のパソコンから被害者と思われる女児の画像が見つかった。本人は『ごめんなさいという気持ちです』と犯行を認めている」(社会部記者) 栃木県今市市(現・日光市)の小学一年生・吉田有希ちゃん(当時7)が惨殺された、痛ましい事件。真

勝又は今年一月末、偽ブランド品のバッグ等を販売目的で所持していたと、母親(55)とともに商標法違反容疑で栃木県警に逮捕



涙ながらに会見した両親

勝又は今年一月末、偽ブランド品のバッグ等を販売目的で所持していたと、母親(55)とともに商標法違反容疑で栃木県警に逮捕

勝又は今年一月末、偽ブランド品のバッグ等を販売目的で所持していたと、母親(55)とともに商標法違反容疑で栃木県警に逮捕

勝又は今年一月末、偽ブランド品のバッグ等を販売目的で所持していたと、母親(55)とともに商標法違反容疑で栃木県警に逮捕

勝又は今年一月末、偽ブランド品のバッグ等を販売目的で所持していたと、母親(55)とともに商標法違反容疑で栃木県警に逮捕

勝又は今年一月末、偽ブランド品のバッグ等を販売目的で所持していたと、母親(55)とともに商標法違反容疑で栃木県警に逮捕